

資料7

令和5年9月19日
医療審議会計画部会

外来医療計画及び 医師確保計画（案）

令和5年9月19日
青森県健康福祉部

外来医療計画①

現状と課題

【外来医療の現状】

- 外来患者延数は全国平均を上回っている。
- 時間外等外来患者延数は全国平均を下回っている一方、病院への時間外等外来患者延数が全国平均を上回っている地域がある。
- 訪問診療患者延数は全国平均を下回っているほか、地域偏在がある。
- 一般診療所に従事する医師の年齢構成は、60歳以上が全体の約6割を占める。
- 医療資源の多くは市部に集中している。

【外来医師偏在指標と外来医師多数区域】

- 外来医師偏在指標は、県内全ての圏域で全国平均を下回っている。
- 県内で「外来医師多数区域」はない。

施策の方向性

【目的】

- 地域における外来医療提供体制の確保

外来医療提供体制の確保に関する取組

- (1) 外来医療機能の偏在等の解消
- (2) 地域で不足する外来医療機能の確保・充実
- (3) 県民への普及啓発

医療機器の効率的な活用に関する取組

- (1) 医療機器の配置状況、保有状況を可視化し共有

外来機能報告

- (1) 紹介受診重点医療機関の明確化

外来医療計画②

【参考】紹介受診重点医療機関リスト

No	地域	医療機関名称	医療機関住所	公表日
1	津軽	弘前大学医学部附属病院	弘前市本町 5 3	令和5年8月1日
2		独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター	弘前市大字富野町 1 番地	
3		弘前中央病院	弘前市吉野町 3 - 1	
4		鳴海病院	弘前市品川町 1 9	
5	八戸	八戸市立市民病院	八戸市田向三丁目 1 番 1 号	
6		独立行政法人労働者健康安全機構青森労災病院	八戸市白銀町南ヶ丘 1	
7	青森	青森県立中央病院	青森市東造道二丁目 1 の 1	
8		青森市民病院	青森市勝田一丁目 1 4 番 2 0 号	
9	西北五	つがる西北五広域連合つがる総合病院	五所川原市字岩木町 1 2 番地 3	

※令和5年7月開催の青森県地域医療構想調整会議で協議

医師確保計画

現状と課題

- 医師の県内定着に向けては、医師修学資金の貸与による医学生への支援、臨床研修環境の充実・改善を図るための臨床研修医セミナーの開催など、様々な対策に取り組んできたところであり、県内の人口10万対医師数は着実に増加している。
- 一方で、本県の医師偏在指標は全国第46位と低位の状況が続いており、相対的に医師数が少ない状況が続いている。

	人口10万 対医師数 (2016年)	人口10万 対医師数 (2018年)	人口10万 対医師数 (2020年)
全国	240.1	246.7	256.6
青森県	198.2	203.3	212.5
道庁地域	293.1	305.4	325.3
八戸地域	183.0	180.3	192.0
青森地域	211.3	221.0	223.6
西北五地域	122.9	131.8	133.2
上三地域	124.4	125.1	130.6
下北地域	143.2	138.8	149.9

順位	都道府県名	医師偏在指標
1	東京都	353.9
2	京都府	326.7
3	福岡県	313.3
4	岡山県	299.6
5	沖縄県	292.1
⋮		
-	全国	255.6
⋮		
43	茨城県	193.6
44	福島県	190.5
45	新潟県	184.7
46	青森県	184.3
47	岩手県	182.5

施策の方向性

【目的】

- 目標医師数2,972人の医師確保

医師偏在指標		医療施設従事 医師数 (2020年)	目標医師数 (2026年)	必要医師数 (2036年)
184.3	医師少数県	2,633	2,972	3,318

医師確保に向けた取組

- 本県における医師確保に向けた取組は一定の成果に結びついてきたところであり、医学部入学者の経済的支援をはじめとするこれまでの取組を引き続き進めていくとともに、キャリア形成プログラムなどの新たな制度を適切に活用し、県内の医師確保に結びつけていく。

【主な取組】

- (1) 弘前大学医学部医学科への地域枠維持の要請
- (2) 医学部入学者への修学資金の貸与
- (3) 臨床研修医セミナーの開催などによる、若手医師の県内定着促進
- (4) 地域枠医師のキャリア形成支援
- (5) 寄附講座の設置
- (6) 医師の勤務環境改善への支援